



Title	日本の結核対策 : 過去から未来へ
Author(s)	
Citation	
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/100655">https://hdl.handle.net/11094/100655</a>
rights	
Note	

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 生前の井戸武實の言説を 繙いて

林 田 雅 至

大阪大学名誉教授

京都外国语大学-令和5・6年度共同研究「教育メソッド-教育コンテンツ研究」研究協力者

E-mail:[masashihayashida74@gmail.com](mailto:masashihayashida74@gmail.com)

1. 井戸武實著「”薬を飲み忘れるのは正常な人間”訪問型 DOTS 事業」(月刊「福祉のひろば」総合社会福祉研究所<sup>1)</sup>), 2009.9, p.6-7.
2. 大阪公衆衛生協会理事兼事務局長、井戸武實氏は「本田先生は早くから公衆衛生の大切を感じ実践しておられた」と話した：「釜ヶ崎の赤ひげ先生(4)ー本田良寛伝ー」(大阪日日新聞, 2017.10.18)<sup>2)</sup>
3. わたくしは乾死乃生(1923年-2004年)さんと一緒に仕事をしました。私は昭和42年(1967年)5月6日から藤井寺保健所に大阪府庁から赴任しました。そして、乾さんとは同和地区検診と一緒にしました。当時、藤井寺保健所の管轄する市は藤井寺市、羽曳野市、松原市の三市でした。乾さんが藤井寺保健所保健師として松原市の同和地区「更池」地区を担当しました。昭和50年(1975年)4月1日に藤井寺保健所から独立して松原市に松原保健所が発足しました。そして、乾さんと一緒に藤井寺保健所から松原保健所に転勤しました。松原保健所には藤井寺保健所から10人くらい転勤となりました。当時の丸山創所長に一人一人が所長室に招かれ、所長曰く：「松原保健所ができたのは、住民の活動と要望でできたものです。そのことをしっかりと認識して業務を行ってください」と。これまでの私自身の生き方は乾さん、丸山先生の影響が大きいと考えています：(井戸武實：林田雅至宛電子メール：2020年9月4日)<sup>3)</sup>「保健婦長は藤井寺保健所主査で更池地区担当駐在として活躍した乾死乃生氏(当時52歳)が発令された」(浅野五三男著「大阪府松原保健所のご紹介」(大阪防疫協会, 1975).

乾死乃生は保健師界の傑物で、保健師活動を以下のように分析する：保健婦活動で苦労した人に賞をあたえ、マスコミがそれを美談風荒木に書くことには憤りをおぼえます。国がきちんと保障すべきなんです。孤島で活躍した荒木初子さんが、こういう形でしか報われないのでしょうか。駐在制だって、保健婦だけがいって、医者が行かないなんて…(中略)…保健婦を僻地へやって、医者がコンピュータで保健婦をリモコンする。ほんとうに生命を大事にするんだったら、こんなことおかしいでしょう：第9回藤原九十郎賞(1987年)授与に際しての乾死乃生のコメント(木村哲也著『駐在保健婦の時代 1942-1997』医学書院, 2012年9月, p.284-6)

ここに登場する荒木初子(1917年-98年)は、高知県沖ノ島出身、駐在保健婦のことでの献身的な努力により乳児死亡率は下がり、風土病のフィラリア患者も減少したことで第1回吉川英治文化賞

(1967年)の栄誉に浴した。作家・詩人伊藤桂一(1917年-2016年)の取材を受け、『「沖ノ島」よ私の愛と献身を離島の保健婦荒木初子さんの十八年』(1967年)が上梓される。テレビドラマ版(1970年)の先行映画『孤島の太陽』(1968年)は、この伊藤桂一著取材小説を基に、朝の連続テレビ小説「おはなはん」(1966-67年)で当時人気絶頂期にあった桜山文枝を主演に、劇団民藝総動員出演で製作された。<sup>4)</sup>

この西暦1967年は押さえておくべき年である。荒木初子が吉川英治文化賞を受賞した年であり、乾が松原市・同和地区「更池」地区の担当を始めた年である。荒木が20年ほどをかけて、風土病のフィラリア患者について、医療的に救済を達成した一方で、乾は治療困難な結核がトレースされ、同和地区が二重に「門地」(病理的差別及び社会的差別)化される不条理感を看過できぬと苦悩したはずである。傍らには、感受性豊かで元気溌剌な20~30代の井戸青年がともに行動している。共感せずにはいられなかつたであろう。

ただ、実は、遡って当時35歳の乾、曰く「今回「大阪公衆衛生」の創刊号が発行されましたことは、自分達の会誌と云う近親感もあって大変よろこばしくうれしく存じます。公衆衛生に従事されるあらゆる職種の方々が、自分達の仕事の悩み苦しみ楽しさを自由に話し合い討論し、その中から発展した「大阪公衆衛生」はわが物としてその実感が深く胸に響きます。本誌がいよいよ私達のよりよき仕事の指針として発展しますことを心から期待いたします。(大阪府狭山保他所保健婦乾死乃生)"大阪公衆衛生"創刊号を手にして／季節メモ(1958)。いかにも素直で誠実な職業倫理に溢れる言葉が並ぶ。

1967年44歳以降の批判力旺盛となった実践者の彼女と隔絶の感がある。

閑話休題。ここで指摘すべきは、一つは、国策による同調主義の問題である。荒木初子自身も持ち上げられて美化されたことに違和感を抱いたとするが、本質的には乾が指摘した通り、厚労省という国民の健康行政を統括する国家機関が財政的な問題から、離島に高給になる医師を派遣せず、安く上げた結果を乾は酷評する。その謂わば「不都合な真実」を隠蔽するために荒木は巧みに利用され、映画テレビメディアも格好の宣伝媒体を担わされた。ただ、他方、それに啓発されて保健師を目指した、献身的な素直な数多くの若年層の存在自体は肯定されるべきである。

もう一つは、部落差別の問題である。その前に、大阪防疫協会機関誌には、青木美憲著「ハンセン病対策の過ち」(第208号、2024、p.2-7)が掲載されている。<sup>5)</sup>映画公開50年を契機に2024年10月初旬BS松竹東急で名画「砂の器」(1974)が放映され、筆者は蓼科字鹿山で鑑賞した。東京外大在学中にも、映画館で鑑賞したが、当時は無知で何故に本籍を移したために主人公が大恩義のある巡査(緒形拳)を殺害までしたのか、分からず仕舞だった。特に今回はNHK朝ドラ「虎に翼」(2024年上半期)が高視聴率で、毎日欠かさず家族で鑑賞し、憲法第14条の自由平等にある「門地」を問わぬ自由・平等が主人公によって何度も復唱され、心に響き、「砂の器」の理解がより深まった。憲法は近代的理想的主義で規定し、対する前近代的な慣習法の「門地」による差別意識は、「三つ子の魂百まで」の如く、10歳(小4)で国語の教科書で「壁新聞の作り方」などを通して5W1Hが知識注入され、理由付け(理詰め)の母語発話が可能になるものの、それ以前、意識に刷り込まれてしまう「門地」の原体

験的差別「感」は、理性によって差別「意識」として相対化されず、凌駕されない人間の性(サガ)として厳然と存在し、とりわけ被害者は四六時中、塗炭の苦しみに喘ぐことになる。映画「砂の器」では、演出上肉声を抜いて、幼少期の主人公<sup>6)</sup>が周囲から指を指され、いじめられる場面が主人公のピアノ演奏・指揮によるオーケストラ交響曲「宿命」をバックに映し出された。ハンセン病罹患による差別以前の問題で、根深い二重の差別構造を形成している。治癒可能で感染力の極めて低いハンセン病が科学的根拠なくトレースされ「地域」に刻印される「門地」差別から自ら解放されるために、主人公はやむなく殺人事件を起こす。憲法通りに「門地」差別が現実に消滅していれば、事件は起こらず、愛人問題も解決の糸口を見出し、ハンセン病患者実父との関係が正常化すれば、ピアニストは未曾有の成功者として、物語は大団円の中に幕を閉じるのである。余談であるが、古代ギリシャ時代以来文学の最高峰は悲劇であり、喜劇などは二番煎じとされてきた。その伝で行けば、主人公は殺人事件を起こし、劇的に「宿命」交響曲の演奏が終わると同時に逮捕され、悲劇的な運命が彼を待っているのである。至高の悲劇作品の終焉と言える。一方、しかし、この二重の差別構造の社会問題は今でも未解決である。SNSなどIT技術が急速に発展する中、万能の裏返して、負の側面も容赦なく加速度的に悪質化している。とにかく何時になっても乗り越えられず、慣習法のくびきの下、現今の対外的に2国間及び複数諸国間、それぞれ固有の民族主義抬頭にあって、各国内的に少数民族差別はますます酷くなり、世界的にも「門地」による差別は一向になくなる気配はない。ここでの結核を契機とする差別の2重構造のほうが、ハンセン病による2重の差別構造より、部落差別という社会的差別を抱え、根深さを痛感する。

以上の2点が乾・丸山両氏を通して凝縮されて、当時年齢20~30代、井戸青年の意識に深く刻み込まれ、その後の人生の道標(職業的行動原理)となった意味で、大きな出会いとなった。後年、結核が猛威を振るうあいりん地区での井戸氏の感染の危険を顧みない一種神懸かり的なホームレス対応は、ハンセン病(ライ病)患者の手に触れて治癒するイエスの似姿とも言える。林田は短い出会いの中で、一見表層的に聞こえる、何度か耳にした「よっしゃ任しといて」という覇気に満ちた簡潔に凝縮された言説は乾・丸山の人生哲学に通底することを今更ながら述懐する。

4. 井戸武實著「あいりん地域における健康支援：結核対策を中心に」(I. オンライン授業：綺羅星の登壇者たち、印南敬介編『オンライン授業報告書』(SDGsに関する大阪大学実績報告書)：林田雅至退職記念論文集』大阪大学COデザインセンター、2021), p.112-117：コロナ禍、オンラインで実施された授業に基づく(2020.6.16)<sup>7)</sup>

5. 知人の皆様 私の所属しました公益財団法人大阪公衆衛生協会は3月31日をもちまして解散いたしました。在職中お世話になりありがとうございました(2021年4月4日(日) 18:05 井戸武實 <[ido@heso.or.jp](mailto:ido@heso.or.jp)>)

6. 奈良,佐保川の満開の桜良かったです。私たちは4月1日(木)に行きました。米朝さんの落語

「鹿政談」<sup>8)</sup>も鑑賞いたします(同年4月5日(月)23:31 井戸武實)

林田：3日(土)車窓から、奈良佐保川沿い5kmに及ぶ桜狩りを楽しみました。この週末が最後で、花吹雪は迫力がありました。明治維新開国派・川路聖謨の植樹を鑑賞(同年4月5日 17:31)/佐保川桜狩りの遣り取りは2024年4月上旬まで続く。<sup>9)</sup>

7. 高野正子旧大阪公衆衛生協会会长への御礼メール(2021年6月6日 21:47)： 2021年3月にISO コミュニティ通訳認証機関校が決定し、第一回認証式をオンライン開催、初回認証対象者は8名でした。3年後更新時期に現在の推奨事項(ガイドライン)段階から要求事項(これまでモノづくりで適用されてきた国際規格の厳格な基準と同等)の段階に格上げされます。今後どの程度の人数及び高い質の認証者を出すかが問われます。2018-2019年の井戸さんの弛まぬご尽力がなければ、ISO格上げに至ることはありませんでした。公益財団法人大阪公衆衛生協会の寛大なご理解に改めて感謝致します：関西SDGsプラットホーム：【7月14日(土)】Contextual Sensitivityを「見える化」する適正テスト(2018.06.04)URL

参考：ISO コミュニティ通訳認証<sup>10)</sup>(認証に不可欠な「適正テスト」言語能力カルテには旧大阪公衆衛生協会会长高野正子署名及び協会公印有)

8. 大阪大学附属図書館学術コンテンツ担当より(2021年9月29日：20:03)：

こちらからご報告する前にご連絡くださり恐縮です。半年かかってしまいましたが、ご覧になったおり、機関誌「大阪公衆衛生」創刊号からの登録が完了いたしました。お気付きの点等ございましたら、ご指摘ください。後ほど私の方からも、高野様、井戸様にご報告をいたします：大阪公衆衛生協会機関誌アクセス URL

9. 下記写真：故・井戸武實(左)，筆者(中央)，今田光三(右：大阪防疫協会理事長)：旧大阪公衆衛生協会・大阪防疫協会両機関誌OUKA掲載正式手続きの際(阪大豊中キャンパス外国語学部控室<sup>11)</sup>：2021年10月7日)：



故・井戸武實の言説を渉猟する旅はここに終わる(合掌). 摘筆

註:

- 1) 総合社会福祉研究所:<https://www.sosyaken.jp/>; 参照:総合社会福祉研究所ってどんなところ?(URL);参考:月刊「福祉のひろば」
- 2) 本田良寛(1925-85):1963年から大阪市西成区のあいりん地区(釜ヶ崎)で医療活動にあたる。1970年発足の大坂社会医療センター付属病院長。1980年吉川英治文化賞。大阪市立医専(現大阪市立大)卒。
- 3) 丸山創「保健所でなければできない仕事」(大阪公衆衛生, 1969, 第21号, p.22-23):往診の様子が繊細な文章に刻まれ、心温まる名文である。
- 4) 映画「孤島の太陽」モデル、荒木初子記念館が閉館へ... フィラリア撲滅に貢献「今も島民の心に」: 読売新聞(2024.3.24); 因みに、終生劇団の牽引役宇野重吉(1914年-88年)の子は寺尾聰(1947年生)。なお、乾氏について附言すると、「乾保健師は、1978年退職後に難病看護研究に取り組むことができるようになったというより、現役時代からこれまで保健所や保健師が光をあててこなかった課題を発見し、それを保健師の仕事として定着させることにエネルギーを使っていたのだと思います」(高鳥毛敏雄記述:林田雅至宛てメール:2025.1.24)。座長:乾死乃生(大阪在宅難病看護研究会)他「一般演題 201-205」抄録(第21回社会医学研究会総会報告, 1981), p.47-51; 同タイトルのみ, p.131-32(社会医学研究(1981):報告書); 乾死乃生 5件検出:最古年:1979年1月号, No.86:難病専門病院の建設を『大阪保険医雑誌 400号総目次』(大阪保険医雑誌 | 大阪府保険医協会)などに、それ以前からの姿勢・構想が前提であることを示している。
- 5) <https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/98077/>
- 6) 子役の主人公は、春田和秀(1966年生)。2024年映画公開50年を記念して、映画の犯人捜査の手掛かりにあたる地名:亀嵩(島根県奥出雲町)では、関連イベントが開催、当時のロケ撮影以来50年ぶりの訪問となった春田和秀はトークショーにゲスト参加し、「昭和の子役は労働基準法も何もなく、「砂の器」のロケは過酷でトラウマになり、すぐに引退」と語る。つい数年前まで、子役であったことをひたすら隠し、子役時代のことは黙して語らずであったが、少しずつ沈黙を破り、今回の記念事業参加も実現。参考:参照:島根県:砂の器(トップ / くらし / 文化・スポーツ / 文化振興 / 文化芸術情報 / しまね文学マップ / ここに物語あり) URL; 参照:砂の器記念祭のお知らせ|お知らせ|奥出雲町公式観光ガイド URL; 松本清張「砂の器」記念碑|観光ガイド|奥出雲町公式観光ガイド URL; 樋口尚文著・編『昭和』の子役: もうひとつの日本映画史』国書刊行会, 2017。さらに井戸さん同様に「先生と言語を巡る思い」(2021)で寄稿した日系3世上村秀樹氏は「確かに昨年に放映された朝ドラ「虎に翼」は近代化日本の荒波に日本の法律が対応、西洋文化の自由主義に繋がり、自由平等精神を中心とするテーマは朝ドラとして、非常に注目を浴びました。先生が仰った日本憲法第14条「門地」について、自由平等があまねく行き渡るブラジルで育った私には良く理解できませんが、昔からハンセン病の問題は家族で話題になったことがありました。父からそのハンセン病に関連して、話題にしていたのが「砂の器」を見たという話でした。ピアニストの父親がハンセン病にかかり、当時の医療体制は真摯に治療に取り組まず、患者を差別したことが起因して、憤怒に堪え切れず、警官を殺害してしまう悲しい映画。まだ、サンパウロで父が二十代の時に旧日本人街(リベルダーデ街)で Cine Joia: 映画は宝: 旧東宝直営映画館の最盛期にはよく日本映画が上映され、その時に観賞したと本人は言っていました。何回も聞かされていたので、ある程度のあらすじは覚えていましたが、ど

うしても、映画のタイトルが思い出せず、検索できなかったけれど、最近父がもう一度観たいので、私に探してくれと頼まれた時に、偶然、先生のメールから、その名前が現れて、発見に繋がりました。感謝しています。先日ようやくその動画を手に入れて、父が映画を見て大変懐かしがり、感動したようです。ブラジルではハンセン病を差別する時期が昔あったと聞いたことがあり、Lepra(レプロ:ライ病)と悪い名前で呼ばれていて、多分ブラジルも、日本と似たようなこと多くあったと思います。今は名前をハンセン病と改めて、保健省は毎年一月は janheiro roxo(ジャネイロ・ホショ:紫の 1 月:ハンセン病月間)と言うキャンペーンをマスメディアで広く報道して国民に正しい情報を提供しています」(上村秀樹:2025 年 1 月 29 日 10:13 付林田宛メール)

また、戦後パラグアイ少年移民、高橋勝幸(1945 年生)の情報を加えると「もう半世紀も前ですが、オイルショックで仕事がなくなり、大阪に来る前に臨時で鎌倉の栄光学園で働いていた時に「砂の器」の全国ロードショウがありました。大船に松竹の撮影所があり、栄光学園の近所に「映画中の父親役」の加藤嘉(1913-1988)が住んで居て栄光学園にも話に来てくれました。「長島愛生園」での「知らぬ」の名場面は誰もが涙を誘うものでした。長島には大阪に来てから訪問を続けています」(林田宛メール:2025 年 2 月 9 日:11:55)

- 7) <https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/81421/>  
[https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/81421/onlinelessons\\_112.pdf](https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/81421/onlinelessons_112.pdf)  
因みに、授業報告書目次 URL:[https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/81411/onlinelessons\\_c.pdf](https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/81411/onlinelessons_c.pdf)
- 8) 落語:鹿政談;参照:『鹿政談』エピソード:鹿鳴人のつぶやき『日経新聞』(2017.11.6)URL
- 9) 司馬遼太郎著『坂の上の雲』(産経新聞、1968 年~72 年、1296 回、夕刊連載)にも登場。1853 年日露交渉で川路は稀代の通訳(通詞)として活躍。そのことが下記文献に記録される:ゴンチャロフ著『日本渡航記』イワン・ゴンチャロフ参考:沢田和彦「ゴンチャローフ『日本渡航記』再読」(「一橋」,1995,114(3),p.572-584:参考:【講談】神田伯山「鹿政談」in 新宿末廣亭(2021 年 12 月 19 日口演)URL;幼少時 3 年「伯」刺西爾(ブラジル)滞在歴
- 10) URL:ISO 13611:2024 - Interpreting services – Community interpreting – Requirements and recommendations;参照:大阪観光大学ニュース『ISO 13611:2014 通訳ーコミュニティ通訳のためのガイドライン』オンライン認証授与式(2021.05.28);佐藤晶子、小森三恵、林田雅至共著「高等教育機関による多言語の『ISO 13611:2014 通訳ーコミュニティ 通訳のためのガイドライン』認証取得・更新と言語運用能力の向上・維持を測る適正テスト実施についての考察 -コミュニティ通訳 (3) -」大阪観光大学研究論集, 2023, 第 23 号, p.45-54.

上記 URL:2024 年要求事項版(&推奨事項:2014 年既発行済)が発行され、京都外国語大学では、この要求事項版(これまでモノ作り国際規格でお馴染みの高度なレベル)に基づいて、教育カリキュラム策定の上、「適正テスト」(CEFR:B2 以上)に合格し、認証を与える制度が 2025 年度から本格的にスタートする。実際、卒業生に認証書を授与するのは制度完成の 2028 年度になる。

- 11) [campus\\_map\\_toyonaka\\_A4\\_20210727.pdf](#):⑩総合図書館(館下食堂・売店), ⑩全学教育推進機構内に外国語学部控室。笑談:学生に図書館は何処?と聞けば、必ず、館下(食堂)の「上」と答う。主体は「食」也(苦笑)。

(各 URL:最終閲覧日:2024 年 12 月 22 日)